

2018年1月22日掲載

定期検診

「プロのケア」重要

皆さんは、歯科医院での定期検診を受けているでしょうか。

八重垣健教授（日本歯科大）らの調査によると、歯科医院で定期検診を受けている割合は、北米では68%なのに対し、日本は14%と低い割合となっており、日本での歯科医院の認識は、やはり「悪くなったら行くところ」であることがうかがい知れます。

最近、テレビコマーシャルなどで「予防歯科」という言葉をよく耳にします。むし歯や歯周病になってから治療するのではなく、なる前の「予防」を大切にするという考え方です。ご家庭で行う歯磨きなどの「セルフケア」と歯科医院で行う「プロフェッショナルケア」。お口の健康を保つためにはどちらも重要です。

一般的に歯科医院での定期検診では、むし歯や歯周病のチェック、入れ歯をご使用の方には適合やかみ合わせのチェックを行います。治療が必要な箇所が見つければ治療を行いますし、問題がなければ、セルフケアのためのブラッシング指導や、プロフェッショナルケアである、お口の中の清掃を行います。

痛みなどの症状が出てからでは、治療の回数や費用もかかってしまいますが、悪いところを早期発見できれば、治療の回数や費用も少なく済みます。

お口の健康を維持・増進するために、定期的な歯科医院への受診をお勧めします。